

法人監事・坪沼一成先生から、 フィリピン産パイナップルの寄贈 —コロナ終息を受けて現場の職員へ—



令和3年2月9日（火）法人監事の坪沼一成先生から、フィリピン産のパイナップル200個が届きました。コロナの終息を受けて、クラスター（感染者集団）に立ち向かった職員へ慰労の意味が込められているとのこと。さっそく、第一、第二、第三療育課の職員を中心に大きなパイナップルを一人ひとりに手渡しました。

写真左の「ありがとう 北海道療育園」という幟（のぼり）は、坪沼先生のご友人で画家のサカイトリノリ先生と原田和香さんから贈られたものです。サカイ先生と原田和香さんは、当法人の各事業所に天井画や壁画を描いてくださっています。幟は療育園の園内、園庭に使用させていただきます。

坪沼先生、サカイ先生、原田さんの善意に心から感謝とお礼を申し上げます。